

令和3年度 福井市足羽第一中学校 スクールプラン

<生徒の実態>

- ・明るく素朴で素直な生徒が多い。
- ・物事に真面目に取り組む生徒が多い。
- ・指示を聞いたり、慎重に考えたりしてから行動する生徒が多い。

<保護者の願い>

- 学校生活で以下の力を身に付けてほしいと考えている。
- ・コミュニケーション力
 - ・物事を多面的に考える力
 - ・物事に粘り強く取り組む力
- <地域の願い>
- 歴史と伝統のあるこの中学校でしっかりと学習し、地域とともに歩む生徒になってほしい。

【学校教育目標】 未来を切り拓く生徒の育成

【めざす生徒像】

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

知識をつなげることができる生徒

仲間とともに納得解を見出せる生徒

よりよくチャレンジし続ける生徒

<身に付けさせたい資質・能力>

学習の基盤：言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力

- ・基礎的・基本的な知識・技能 (知)
- ・読解力 (知)
- ・時と場に応じた言動 (徳)
- ・健康的な生活習慣 (体)
- ・地域活動のねらいと意義の理解 (地域)

往還

- ・自分の考えを適切に伝える力 (知)
- ・物事を多面的に考える力 (知)
- ・認め合い励まし合う力 (徳)
- ・地域の良さや課題について考える力 (地域)

往還

- ・持続的な探究心、向上心 (知)
- ・物事に粘り強く取り組む力 (知)
- ・異なる多様な人々と協働する力 (徳)
- ・地域づくりのために自分たちにできることを考え出す力 (地域)

(知)：確かな学力の向上

(徳)：豊かな心の育成

(体)：健やかな体の育成

(地域)：地域に根ざした学び

具体的な取組

◎「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・教育活動の実践

◎教科横断的な学習の充実

◎家庭・地域との連携

- ・家庭における自主的な学習について、家庭と協力し継続的に指導する。
- ・一人一人に応じた個別学習を継続的に行い、基礎基本の定着を図る。
- ・集団におけるルールやマナーの大切さを自覚し、実行しようとする態度を育む。
- ・保護者と連携しながら SNS に関する情報モラル教育を推進する。
- ・図書委員会や学校司書と連携し、読書活動を推進する。
- ・地域と関わる活動についてねらいを共有し、意義を理解させる。

- ・他者と対話する場を計画的に取り入れ、自分の考えを発表したり、考えを広げ深めたりできる授業を実践する。
- ・道徳の授業の指導と評価のあり方を研究し、考え議論する道徳を実践する。
- ・学校行事、学級指導等の特別活動において仲間を認め合う活動を行う。
- ・地域活動に参加することの意義を実感できるように、地域の声を生徒に返し考える場を設ける。

- ・見通しを持って粘り強く学習し、振り返りをもとに次の学びに活かすことができる授業を実践する。
- ・特別活動、部活動等で、生徒主体の自主的・自発的な活動を多く行い、適切な評価によりチャレンジ精神、向上心を高める。
- ・教育相談や各種調査等を活用して、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- ・学校・学年だより、HP 等で積極的に情報を発信して、子どもの成長を共有できるように努める。
- ・公民館と連携し、地域活動への「参加から参画へ」を推進する。

評価指標

(生徒アンケート等の回答による…よくあてはまる+ややあてはまる)

- ・授業がよくわかる (85%)
- ・来校者や先生、友達、地域の人に場合った挨拶ができる (95%)
- ・SNS 等の利用について家庭で話し合い決まりを守った (85%)
- ・地域ボランティア活動に進んで参加している (90%)

- ・授業中自分の考えを積極的に発表している (80%)
- ・話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができる (全国学調) (85%)
- ・道徳の時間に考えを深めることができる (95%)
- ・みんなで何かをするのは楽しい (95%)

- ・授業に主体的に取り組んでいる (95%)
- ・やらなければいけないことは最後まで取り組んでいる(SASA) (95%)
- ・将来の夢や目標を持っている (80%)
- ・自分にはよいところがあると感じる (85%)
- ・いじめを見たら大人に知らせたりとめたりすることができる (100%)
- ・学校だよりやホームページ等を通して学校の様子を適切に伝えている(保護者) (95%)

【業務改善のための取組】

・学校行事、会議等の精選および効率化 (職員会議は 1 時間以内)

・部活動二人顧問分担体制

・超勤時間削減のための各自のマネジメントの推進